

令和6年度ホタテガイ採苗情報（第8報）

令和6年6月4日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：広域振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



地域間で差があるものの、ホタテガイ稚貝の付着が継続しています。

< 調査結果の概要 >

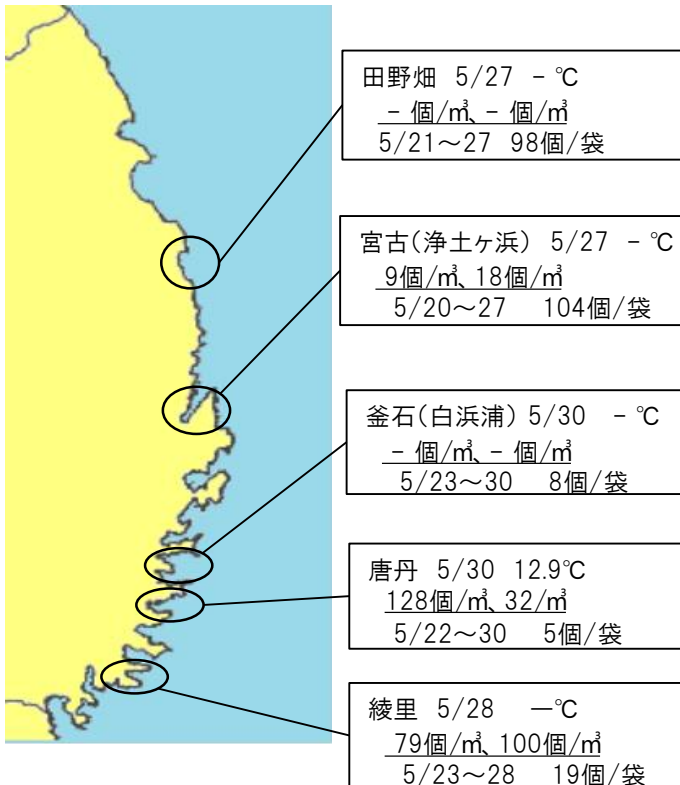
- 5月30日の唐丹湾の10m深水温は12.9℃、透明度は7mでした。
- 唐丹湾では、殻長200μm未満の小型のホタテガイラーバが128個/m³（昨年同時期：89個/m³）、200μm以上の大型のラーバが32個/m³（同：31個/m³）出現しました。
- その他のラーバ出現数は、ムラサキガイが50個/m³、キヌマトイガイが27個/m³、エゾシカゲガイが57個/m³、その他が2個/m³でした。
- 地域間でばらつきはあるものの、広い範囲でホタテガイ稚貝の付着が継続しています。
- 地場の調査結果を参考に分散投入を続けてください。

< 陸奥湾の状況（ホタテガイ採苗情報第10号（5月30日発行）） >

- ラーバは収束（23個/m³）。付着稚貝は平年より少ないが、昨年よりは多い。

< 宮城県の状況（ホタテガイ採苗通報第9報（5月29日発行）） >

- ラーバ、付着稚貝ともに減少傾向。



調査点 調査日 水深10m層水温
ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、6月6日頃に
発行する予定です。

